

だい ぶ かだい  
第5部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持  
さん 参ください。

だい かい  
第16回

まいにち にゅうりよく  
毎日パソコン入力コンクール

とう き たい かい  
冬季大会

か だい  
【課題】

だい ぶ わぶん ちゅうがくせい  
第5部 和文A 中学生

いま つづ こうがい  
今も続く公害

せいげんじかん ぶん  
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、毎日新聞社 月刊News がわかる 2016年8月号『今も続く公害』、  
同6月号『「世界で一番貧しい大統領」が来日』より引用しました。  
(文字数1,940字程度)

かだいぶんしょう きんそくもじ  
<課題文章の禁則文字について>

毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでいる  
ため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルどおり  
に入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりよくけんていいいんかい  
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援

そうむしょう  
総務省

もんぶかがくしょう  
文部科学省

こうせいろうどうしょう  
厚生労働省

けいざいさんぎょうしょう  
経済産業省ほか

ぎょう じづめ ぶんしょう にゆうりよく  
1行35字詰で、つぎの文章を入力してください。

※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。

いま つづ こうがい  
今も続く公害 

熊本県を中心くまもとけん ちゅうしんに、多くの被害おお ひ がいをもたらした公害病こうがいびょう「水俣病みなまたびょう」が公式こうしきに確認かくにんされてから、今年ことしで60年ねん。しかし、原因げんいんとなった水銀すいぎんの汚染おせんを防ぐ世界的な取組ふせ せ かい てき とり組みは、ようやくスタート地点ちてん たに立ったばかりという。また水俣病みなまたびょうは日本の「公害こうがいの原点げんてん」ともいわれているが、公害こうがいの被害ひ がいを訴える声うった こえは今も絶えない。

公害こうがいについて学ぼう。 

人や会社ひと かいしゃの活動かつどうが原因げんいんで、健康けんこうや環境かんきょうに被害ひ がいを及ぼすものを公害こうがいという。法律ほうで主な公害こうがいとしてあげられているのは、大気汚染たいき おせん、水質汚濁すいしつ おたく、土壌汚染どじょう おせん、騒音そうおん、振動ちんどう、地盤沈下じばんちんか、悪臭あくしゅうの7種類しちるい。会社かいしゃなどには、法律ほうりつでさまざまな対策たいさくが義務ぎむづけられている。現在げんざい、公害こうがいとして苦情くじょうが出され、地方自治体ちほうじちたいなどが受け付けた件数つ けんすうは年間5万件ねんかん まんけんを超えている。最も多いのは騒音そうおんで、次いで大気汚染たいき おせん、悪臭あくしゅうの順じゆんになっている。 

近年きんねん、特に全国的とく ぜんこくてきに心配しんぱいされている公害こうがいは、アスベストとPM2.5だ。ともに大気汚染たいき おせんにあたる。アスベストは「石綿いしわた」とも呼ばれる。鉦物よの細い繊維こうぶつ ほそ せん いで、とても丈夫じょうぶなため、1950年代ねんだいから建物たてもものの断熱材だんねつざいなどとして使われてきた。しかし人が吸い込むと肺がんなどを引き起こすことがわかり、2004年に使用しようが禁止きんしされた。過去かこに吸い込んだ人が、今も被害ひ がいに苦しんでいる。また、古い建物ふる たてもものを取り壊す際となどに飛び散ることがあり、今後も被害ひ がいが広がる恐れがある。 

PM2.5とは、大気たいきにただよう直径2.5マイクロメートルちよっけい（髪の毛の太さの30分の1ほど）以下の小さな粒子ちゅうけいだ。工場かみや自動車けの排気ガスふとから発生する。肺はいに入り込み、ぜんそくなどを引き起こす。国内こくないだけでなく、中国ちゅうごくからも風かぜに乗って飛んでくる。国くには基準きんじゆんを作つくって、濃度のうどが高い日は外出ひ がいしゅつを控えるよう注意ちゆういを出したり、これまでの大気汚染たいき おせんを防ぐ法律ふせ ほうりつなどを使って防止つか ぼうしにつとめたりしている。しかし発生源はっせいげんがたくさんあることなどから、追加つい かの対策たいさくが求められている。 

公害こうがいを防ぐ法律ふせ ほうりつは、昔むかしからあったわけではない。世界初せ かい はつとなる公害対策基本法こうがいたいさく きほんは1967年に定められた。公害こうがいがもたらした深刻な被害しんこく ひ がいへの反省はんせいが背景はいけいにあった。健康けんこうと環境かんきょうを守りたいという声こえの高まりから、70年に大気汚染たいき おせんや水質汚濁すいしつ おたくなどを防ぐ14の法律ほうりつが整えられた。71年には環境庁かんきょうちやう（今の環境省いま かんきょうしやう）がつくられた。 

93年には、公害対策基本法こうがいたいさく きほんほうにかわる環境基本法かんきょう きほんほうができた。ごみや車の排ガスくろま はい、温室効果ガスおんしつこう かなど、わたしたちの日常生活にちじゆせいかつによる環境悪化かんきょうあつ かが問題もんだいになり、

公害対策のみならず、広く地球環境を守る法律が必要になったためだ。◀

1950～70年代の高度経済成長の時期に、日本では多くの工場がつくられ、大量の有害物質が排出された結果、たくさんの公害が発生した。環境対策を後回しにしたため、健康を害し、命を奪われる人もいた。そのうち水俣病、四日市ぜんそく、イタイイタイ病、新潟水俣病の四つを四大公害病という。◀

公害病に苦しむ人たちは、裁判を通じて有害物質を出した企業や国に対して責任を問い、救済を求めてきた。企業は被害者に補償をし、国は企業に対して公害対策を義務づけたり、被害者救済のための法律を作ったりしてきた。しかし病気と原因物質との関係が明確でないなどとして、被害者として認められず、今も苦しみながら裁判を続けている人がいる。裁判が長引き、認められずに亡くなった人も少なくない。また差別を恐れ、訴えられなかった人もいる。◀

水俣病をきっかけに、日本では水銀の規制が進んだが、世界を見ると金の採掘などでいまだに水銀を使う国があり、その汚染に苦しんでいる人々がいる。こうした被害を防ぐために、水銀を国際的に管理する「水銀に関する水俣条約」が2013年、熊本県水俣市で開かれた国連の会議で採択された。水俣の悲劇を繰り返さないという意味から、水俣の名が条約に刻まれている。今年2月、日本は締結した。条約が力を持つ（発効）には50カ国以上の締結が必要で、発効すれば、電池や体温計など9種類の水銀使用製品の製造や輸出入が、2020年までに原則禁止となる。◀

◀

「世界で一番貧しい大統領」が来日◀

南アメリカ・ウルグアイの前大統領、ホセ・ムヒカさん（80）が初めて来日した。質素な暮らしで、世界一貧しい大統領と呼ばれた政治家だ。記者会見で「地球にはみんなが生きていけるだけの資源がある。富にしばられず、どうすれば幸せになれるかを考えよう」と呼びかけた。貧しい家庭に生まれたムヒカさんは、1994年に国会議員となり、2010年に大統領に就任した。任期中の5年間は農場で暮らした。また給料の9割を貧しい人々に寄付し、国民に愛された。国際会議では「貧しい人とは、限りない欲望があり、いくら持っても満足できない人のことだ」と話し、注目された。メッセージを紹介した絵本などが日本でも出版されている。